

セキュアOS-WG(勉強会)活動報告

澤田 栄浩

日本高信頼システム株式会社

2004年5月18日

➤ 各社情報持ちよりによる4回の勉強会を開催

1. 第1回 <基礎知識>

TCSEC/Bレベルセキュリティ

CMW (Compartmented Mode Workstation)

◆ Trusted OS、CMW OSに要求されている機能について、 実機を用いつつ概要レベルでの学習を行った

◆ 強制アクセス制御 (Mandatory Access Control)

◆ 区画制御 (Compartment)

2. 第2回 < TrustedOS製品の機能と特徴 >

Virtual Vault

PitBull Foundation Suite

- ◆ TrustedOS (MLS Unix) 製品の機能と特徴を実機を用いながら学習を行った
 - ◆ Trusted HP-UXベースがVirtual Vault
 - ◆ SolarisベースがPitBull Foundation Suite

3. 第3回 <セキュアOS製品の機能と特徴>

SELinux

PitBull LX

Compartment Guard for Linux

- ◆ セキュアOS製品の機能と特徴を実機を用いながら学習を行った (PitBull LX以外はLinuxベースのみ)

4. 第4回 <その他、まとめ>

Oracle Label Security

セキュアOSに関する最近の動向

Linux Worldでの電子政府オープンソースの位置づけ

- ◆ アプリケーションレイヤーでの対応方法について勉強を行った後、Linux Worldで発表された資料を元にして電子政府におけるオープンソースの位置付けを紐解いた
- ◆ 4回に渡る勉強会のまとめとして、日本国内におけるセキュアOS市場の動向を歴史にそって解説し勉強会は終了となった

